

## 2 男女別人口

- 性比は低下傾向ながらも 107.4 と依然高い -

本市の人口を男女別にみると、男性が 687,080 人(構成比 51.8%)、女性が 639,931 人(同 48.2%) で男性が女性よりも 47,149 人多く、性比(女性 100 人に対する男性の数。数値が 100 より大きいと男性が女性の数を上回っていることを示します。)は 107.4 となりました。

前回調査と比べると、女性は 40,023 人(6.7%)増加、男性は 37,083 人(5.7%)増加しており、増加率で女性が男性を上回ったため、性比は 0.9 ポイント低下しました。

性比の推移をみると、本市は第 1 回国勢調査(大正 9 年実施)以降一貫して男性人口が女性人口を上回っており、性比も昭和 15 年調査の 122.4 をピークに 110 前後と高い水準で推移していますが、今回の調査では 107.4 と昭和 10 年以降で最も低くなりました。しかし、低下傾向ながらも依然として高い値を示しています。(表 7)

表 7 男女別人口の推移

年次別	総人口		男		女		性比
	実数	増加率(%)	実数	増加率(%)	実数	増加率(%)	
大正 9 年	85 189		43 454		41 735		104.1
14 年	113 034	32.7	58 180	33.9	54 854	31.4	106.1
昭和 5 年	148 165	31.1	76 483	31.5	71 682	30.7	106.7
10 年	191 700	29.4	99 820	30.5	91 880	28.2	108.6
15 年	300 979	57.0	165 673	66.0	135 306	47.3	122.4
22 年	252 923	16.0	133 714	19.3	119 209	11.9	112.2
25 年	319 226	26.2	166 023	24.2	153 203	28.5	108.4
30 年	445 520	39.6	231 894	39.7	213 626	39.4	108.6
35 年	632 975	42.1	334 490	44.2	298 485	39.7	112.1
40 年	854 866	35.1	451 537	35.0	403 329	35.1	112.0
45 年	973 486	13.9	511 073	13.2	462 413	14.6	110.5
50 年	1 014 951	4.3	532 890	4.3	482 061	4.2	110.5
55 年	1 040 802	2.5	543 269	1.9	497 533	3.2	109.2
60 年	1 088 624	4.6	569 061	4.7	519 563	4.4	109.5
平成 2 年	1 173 603	7.8	617 425	8.5	556 178	7.0	111.0
7 年	1 202 820	2.5	629 804	2.0	573 016	3.0	109.9
12 年	1 249 905	3.9	649 997	3.2	599 908	4.7	108.3
17 年	<b>1 327 011</b>	<b>6.2</b>	<b>687 080</b>	<b>5.7</b>	<b>639 931</b>	<b>6.7</b>	<b>107.4</b>
川崎区	203 804	5.0	108 866	5.7	94 938	4.2	114.7
幸区	144 487	5.9	74 542	5.6	69 945	6.2	106.6
中原区	210 543	6.2	110 452	5.7	100 091	6.7	110.4
高津区	201 792	10.8	103 913	10.0	97 879	11.7	106.2
宮前区	207 895	3.9	105 169	3.1	102 726	4.8	102.4
多摩区	205 389	4.5	108 187	3.7	97 202	5.3	111.3
麻生区	153 101	7.6	75 951	6.8	77 150	8.4	98.4

(注)平成 17 年の市域に組み替えた人口です。

- 性比が上昇したのは川崎区のみ、100 を下回ったのは麻生区のみ -

区別に性比をみると、臨海部に大規模な工場群を持つ川崎区が唯一前回調査の 113.0 から上昇して 114.7 となり、最も高い値を示しています。その他の区は全て低下となりました。次いで、前回調査は川崎区と同じ値だった多摩区の 111.3(前回 113.0)、中原区の 110.4(同 111.4)、幸区の 106.6(同 107.1)、高津区の 106.2(同 107.8)、宮前区の 102.4(同 104.1)と続き、最も低いのは、麻生区の 98.4(同 99.9)となり、市内で唯一女性の人口が男性の人口を上回る区となりました。(表 7)

- 性比は 25 歳～29 歳で特に高い -

本市の年齢（5 歳階級）別に人口の性比をみると、0～4 歳の 104.8 から 25～29 歳の 120.1 まで上昇し、この階層が最も高くなっています。30～34 歳の 114.8 で一度低下となり、40～44 歳の 119.2 まで再び上昇し、この階層が 2 番目に高い値を示しています。45～49 歳の 115.2 以降は一貫して低下しており、65～69 歳の 96.4 で 100 を下回り、さらに 80～84 歳では 61.4 と第 2 次世界大戦の影響もあり性比は著しく低下しています。85～89 歳では 46.9 と女性 2 人に対し男性が 1 人の割合を下回っています。（表 8・図 3）

- 全国の性比は 10 歳～14 歳で特に高い -

一方、全国の年齢（5 歳階級）別の性比をみると、0～4 歳の 104.8 から 5～9 歳の 105.0 まで上昇し、10～14 歳は横ばい、次の 15～19 歳の 105.6 は上昇、この階層が最も高くなっています。20～24 歳の 104.4 以降は一貫して低下しており、50～54 歳の 99.3 で 100 を下回り、それ以降は本市と同様な傾向を示しています。

また、本市と全国の性比で最も乖離している階層は、40～44 歳の 17.9 ポイントで、次に 25～29 歳の 17.3 ポイント、35～39 歳の 16.3 ポイントとなっており、20～54 歳の階層で 2 桁の乖離を示しています。

本市が全国を下回った階層は 5～9 歳の 0.1 ポイントのみで、その他 0～4 歳で同じ値である以外は全ての階層で本市が上回っています。（表 8・図 3）

図 3 全国・川崎市の年齢（5 歳階級）別性比

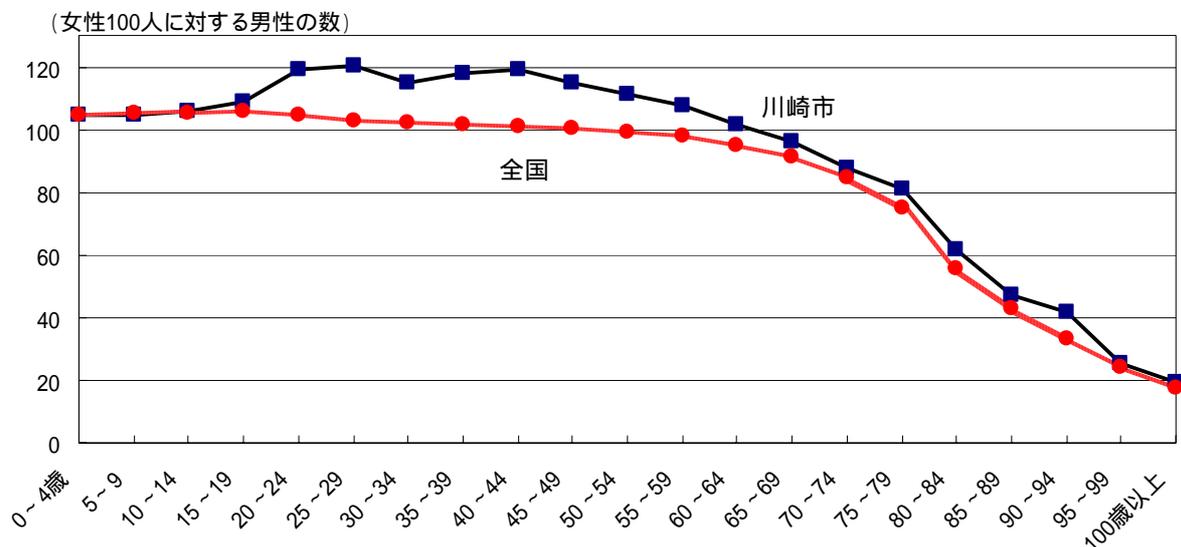


表 8 全国・川崎市の年齢（5 歳階級）別性比

年齢別	川崎市 a	全国 b	比較 (a-b)	年齢別	川崎市 a	全国 b	比較 (a-b)	年齢別	川崎市 a	全国 b	比較 (a-b)
0～4歳	104.8	104.8	0.0	35～39歳	117.9	101.6	16.3	70～74歳	87.9	84.5	3.4
5～9歳	104.9	105.0	0.1	40～44歳	119.2	101.3	17.9	75～79歳	80.9	75.0	5.9
10～14歳	105.6	105.0	0.6	45～49歳	115.2	100.2	14.9	80～84歳	61.4	55.8	5.6
15～19歳	108.9	105.6	3.3	50～54歳	111.0	99.3	11.7	85～89歳	46.9	42.9	4.0
20～24歳	119.1	104.4	14.7	55～59歳	107.4	98.1	9.3	90～94歳	41.6	33.4	8.2
25～29歳	120.1	102.9	17.3	60～64歳	101.7	94.6	7.1	95～99歳	25.2	24.4	0.8
30～34歳	114.8	102.3	12.5	65～69歳	96.4	91.2	5.2	100歳以上	19.6	17.4	2.2

- 低下傾向ながらも 15 大都市で最も高い性比 -

15 大都市の性比をみると、本市が 107.4 で大都市中、最も高くなっています。

男性人口が女性人口を上回っているのは、本市の他には横浜市(101.6)、さいたま市(101.0)、千葉市(100.3)の東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県をさす。)の4市のみとなっています。特に本市の性比は、第2位の横浜市を5.8ポイントも上回り、大都市の中では突出して高い値になっており、本市の人口構成の特徴を示しています。

前回調査と性比を比較すると、静岡市で4.3ポイント低下したのを筆頭に全ての大都市で低下となり、本市でも0.9ポイント低下しました。

また、全国では0.5ポイントの低下となっており、性比の低下は全国的な傾向となっています。なかでも、15大都市の平均では1.0ポイントの低下となっており、大都市の方が顕著にその傾向を示しています。(表9・図4)

図4 15 大都市の性比 (平成17年)

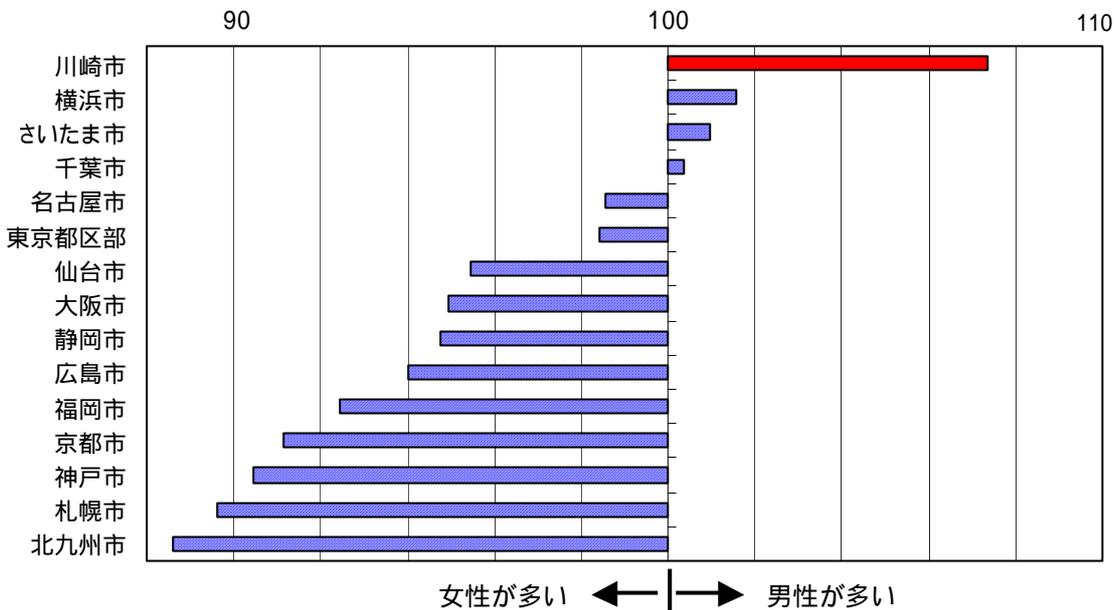


表9 15 大都市別性比

都市別	性比(女性100人に対する男性の数)		増減 (ポイント)	都市別	性比(女性100人に対する男性の数)		増減 (ポイント)
	平成12年	平成17年			平成12年	平成17年	
全 国	95.8	95.3	0.5	静 岡 市	99.1	94.8	4.3
札 幌 市	91.1	89.6	1.5	名 古 屋 市	99.1	98.6	0.5
仙 台 市	97.0	95.4	1.6	京 都 市	92.2	91.1	1.1
さいたま市	101.8	101.0	0.8	大 阪 市	96.0	94.9	1.1
千 葉 市	101.8	100.3	1.5	神 戸 市	91.5	90.4	1.1
東京都区部	98.9	98.4	0.5	広 島 市	94.7	94.0	0.7
<b>川 崎 市</b>	<b>108.3</b>	<b>107.4</b>	<b>0.9</b>	北 九 州 市	89.8	88.6	1.2
横 浜 市	102.6	101.6	1.0	福 岡 市	93.4	92.4	1.0